

委託訓練カリキュラム

実施場所・施設名		企業組合労協センター事業団 砺波地域福祉事業所 大空と大地のぼびー村(砺波市宮森461番地)			
訓練科名	209介護職員(初任者)養成科(企業実習付)	就職先の職務	病院、老人施設等の介護業務、訪問介護事業所等の訪問介護等		
訓練期間	平成27年1月23日(金)～平成27年5月22日(金) 4か月 うち、4月22日(水)～5月21日(木)は企業実習	訓練人員	最少開講人員5名から 定員10名		
訓練内容	介護従事者としての職業倫理と態度を養い、社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の技能・技術を習得する。				
習得能力	基本的な介護を実践するための最低限必要な知識・技術。多職種と協働して総合的にサービスを提供することの理解、チームの重要性と責務の理解、コミュニケーション能力、的確な記録・記述の理解、人権擁護の視点、職業倫理の基本の理解。				
目標資格	介護職員初任者研修課程修了 福祉用具専門相談員				
訓練 カリ キュ ラ ム の 内 容	学 科	導入講習	①訓練修了後に就職が想定される職種の求人・労働条件・資格等、②企業が求める人材像、③事業所での現職経験者との意見交換・模擬実習体験等(必須)、④受講意欲の喚起、⑤ビジネスマナー等	30時間	
		職務の理解	多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解	9時間	
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	12時間	
		介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	12時間	
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション 障害者自立支援制度およびその他制度 介護に関する基礎知識 介護の場面における福祉用具の活用 リハビリテーション概要 老人保健福祉制度の概要	30時間	
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション 高齢者等の心理	12時間	
		老化の理解	老化に伴うこととからだの変化と日常 高齢者と健康 医学の基礎知識	15時間	
		認知症の理解	認知症を取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 家族への支援	9時間	
		障害の理解	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 家族の心理、かかわり支援の理解	6時間	
		こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 生活と家事 快適な居住環境整備と介護 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 介護課程の基礎的理解	57時間	
		振り返り	振り返り、就業への備えと研修終了後における継続的な研修	6時間	
		試験対策	試験対策 筆記試験	9時間	
		就職支援	就職支援 職場でのマナー・コミュニケーション 履歴書の作成ポイント 面接の受け方 新しい働き方 実習に向けてのオリエンテーション	19時間	
		社会福祉講座	介護の現場から 介護家族とサービスについて 利用者との介護家族 ケアマネから見た介護を取り巻く環境 障害者介護の現場から 地域包括支援センターについて	18時間	
		実技	生活支援技術演習	整容に関する実技演習 移動・移乗に関する実技演習 食事に関する実技演習 入浴、清潔保持に関する実技演習 排泄に関する実技演習 総合生活支援技術演習 介護技術 実技評価	60時間
		技	介護実習	福祉用具の活用に関する実習 手話講座 救命講習 レクリエーション体験学習 口腔ケア 介護実習(施設実習、同行訪問、デイ見学、総合復習、パソコンの基礎)	69時間
企業実習	企業における実習	108時間			
訓練時間総合計		181 時間(うち企業実習108時間)(学科244時間、実技237時間)			
主要な機器設備	介護用ベッド、車椅子、プロジェクター他		教材費等計	11,280円	
受講対象	・初心者・他(程度)		検定料計	別途、健康診断に掛かる費用	